

CONTENTS COMBAT

2013.Feb.
No.443

2

Cover Design
favorite graphics(tamao ito),
Cover
©CAPCOM CO., LTD.
ALL RIGHTS RESERVED.
©WORLD PHOTO PRESS 2013



004 SCOOP!!

東京マルイ×カプコン コラボレーション
バイオハザード 対バイオテロ専用ハンドガン
正式名称 初公開 その名は……。

018 【第1特集／biohazard】

総力特集 BIOHAZARD

ジェント専用開発銃 限定モデル

020 SENTINEL NINEのトリセツ 東京マルイ×カプコン

026 「センチネル ナイン」発売 緊急事情聴取

030 封印された銃（初出し、押収品） これが幻の「ALBERT WESKER MODEL」

032 東京バイオハザード帳 イーカプコン&バイオハザードカフェ

●イラスト・文／狩野健一郎

034 発売終了モデルを振り返る 歴代限定モデル・フルコンプリートカタログ

042 「紅いワンピースの女 HOTTOYS謹製フィギュア「Ada Wong」

【第2特集／HK416特集】

051 ただのクローンM4カービンとは呼べない

HK416の実力

●Photos&Text by Tomo Hasegawa

067 東京マルイ

次世代電動ガンHK416D

●Photos&Text by Taku

006 零戦始動 零戦52型の栄エンジンが日本で再び唸りをあげる！

008 New Generation Styler OPERATION SFOD-D PROFILE 7

●by fujiwara

044 サープラスいじり技術研究所

●写真・文：織本知之

045 GOODS & ACCESSORY

050 HotToys MovieMaste Series DX

『ターミネーター2』1/6スケールフィギュアT-800（バトルダメージ版）

058 WESTERN ARMS CHARACTER SERIES IMBEL M911 CBHW／MAGGY Ver.2013／REBELLION HW

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

076 セスラー WWIIアメリカ軍 防寒衣コレクション

●Text by Toshiyuki Kikuzuki ●Photos by Taku／Masakuni Miyasaka (WPP)

081 トイガンニュース

081 WA ウィルソン・コンバット〈プロフェッショナル・ライトウエイト〉

082 WA キンバー〈カスタムTLEII〉

083 WA SFA V10ウルトラ・コンパクト〈シルバー／ブラック〉

084 マルゼン M870デザートリーコン

085 Militaria Roundup! アメリカ陸軍 将校用冬期制服 PART1

●解説：菊月俊之 ●写真：宮坂政邦 (WPP)

096 PRESENT

130 The Equipments of the U.S. Force [現用米軍装備カタログ] 第98回 MLCS/DGLCS/SFLCS特集Part.3 MBSS

●解説：松原隆（高知ボンバーズ）●撮影：山崎 学

138 にっぽんのちからこぶ 北朝鮮弾道ミサイル対処で注目 イージス艦「こんごう」型

●取材：菊池雅之

142 ヒストリーチャンネル・リアルドキュメンタリー番組 射撃王 ～10万ドルを手にするのは誰だ～シーズン3

●Text by Taku

184 S&Grafグッズ

186 中田商店グッズ

097 GAME OVER THE TOP!

100 物欲ワンホール

Round 16:カスタマイズの基本ツール“ヤスリ”

104 レア・ミリタリー・テクノロジー

108 ミリタリー雑学講座

112 ミリタリー・コレクション

114 幻妖中隊 #mod.17 ●by FUJIWARA

116 アメリカGUN事情 Guns Talk from US

118 A STITCH IN TIME

119 2012ショットショー・ジャパン 冬の部

120 ビバ! ナイフ

122 蛙のゆびさき(中山 蛙)

124 トイガンズジャンクション

161 バックナンバーリスト

162 読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

164 帰ってきた 狩野健一郎の[監督、そこにおっぱいは必要ですか!?]

166 アップルフェスタ

170 狩野健一郎のシネマ放浪記

171 狩野健一郎の新作DVD紹介

172 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

175 読者プレゼント応募方法

176 編集後記





特集

DSO: Division of
Security
Operations

制式採用ハンドガン

センチネルナイン LEON MODEL

PEACE THROUGH FIGHTINGを名乗るもの

1998年にアメリカ中西部のラクーンシティから始まった、未曾有のバイオテロの連鎖……ホラー映画の中の出来事でしかなかったはずのゾンビや、未知の生物兵器が人々を襲う姿は、その日から現実のものとなった。

想定外の生物との戦いに生き残るために、その最前線で戦う者達は対人戦の域を越えて対応できる新たな銃を求めた……そして、それは「センチネルナイン」という形となって具現化する。

2008年発売の「デザートイーグル.50AE 10inバレル レオンカスタム」以来、新作は沈黙を保っていたカプコン×東京マルイの『バイオハザード』コラボレーションモデルに、期待の新作が登場。生物兵器との戦いが恒常化した世界だからこそ生まれるであろう「対バイオテロ用ハンドガン」……『バイオハザード』の世界観と歴史の積み重ねが生んだカスタムハンドガンの全貌を、ここに初公開しよう。

文／斉藤直樹

A man with a goatee, wearing a black short-sleeved shirt, tan cargo pants, large yellow and black headphones, and orange-tinted sunglasses, is holding an HK416 rifle. The rifle is black with a scope and a magazine. The background is a blurred indoor setting, possibly a workshop or store.

M4のアキレス腱ともいうべき
ロッキングの作動機構を改善し、
作動性能と信頼性をアップさせた
M16誕生以来の進化。
その実力を改めて振り返る！

●Photos&Text by Tomo Hasegawa

ただのクローンM4カービンとは呼べない

HK416 の実力

CHARACTER SERIES

ウエスタン アームズ ☎03-3407-5922 <http://www.wa-gunnet.co.jp/>

IMBEL M911 CBHW



インベルM911 / カーボンブラックHW

全長	約220mm
銃身長	約114mm
重量	約870g
装弾数	21+1発
予定価格	¥33,600
2013年1月WA渋谷店限定発売予定	

スーパー・メイドの
ブラジル製ガバメント

映画と銃器には、昔から深い関係があった。最近では、アニメでも銃器がリアルに描かれ、種類も充実し、アクション映画を追い越す勢い。しかも映画以上にファン人口が多い。日本のアニメは世界的に有名で、春夏、冬の長期休暇には、アニメの聖地“アキバ”に世界中からコスプレファンが集まってくるという。そんな傾向を捉え、映画やTVドラマ、そしてアニメに登場する銃器をイメージして製作されているのが、ウエスタン アームズ（以下:WA）のスクリーン・



彫刻機で深くシャープに刻まれた独特の刻印が、ガバメント・コレクターの心をくすぐる。

シリーズやキャラクター・シリーズだ。

あらゆる人達の「お買いもの」が活発になる年末年始、トイガン業界にとっても売上の大きなポイントになるこの時期に、WAでは最近人気の高かったモデルを再生産して発売する。その中のひとつが“インベルM911”だ。このモデルは、ブラジルの

国営企業インベル（インダストリア・マテリアル・ペリコッド・ブラジル）社が、1917年にライセンス生産権を取得して造り始めたM1911クローン。第2次世界大戦当時にブラジル軍制式採用拳銃に制定され、1976年にM911の9mmパラベラム・モデルM917に制式の座を譲った。ガバメント・バリエ

東京マルイ 次世代電動ガン

HK416D

ファン待望のH&K版M4が
次世代電動ガンで登場!!

●Photos&Text by Taku ●東京マルイ: <http://www.tokyo-marui.co.jp>
●撮影協力: 中田商店 ☎03-639-6866 (<http://www.nakatashoten.com/>)、
ノベルアームズ ☎03-6416-8902 (<http://www.novelarms.co.jp/>)、
キンリユ ☎0575-22-3066





弾道ミサイルが迎撃可能であるSM-3を発射する「こんごう」型「こんごう」DDG-173。現在SM-3を射撃可能なのは「こんごう」型だけである。



横須賀に入港する「きりしま」DDG-174。「こんごう」型の2番艦。今回のミサイル対処には直接は関わらなかった。



『こんごう』型の頭脳と言える戦闘指揮所：CIC（Combat Information Center）。レーダーによる敵の捕捉、ミサイルの射撃などすべてこの部屋で行なう。



「ちょうかい」艦橋内。操艦するための部屋。艦橋構造物の最上階に位置する。



「北朝鮮が“人工衛星”と称した事実上の弾道ミサイル発射の兆候アリ」。年も押し迫った12月に衝撃的な情報もたらされた。発射台は北朝鮮の北西部、中国との国境から約50kmの場所にあるトンチャンリ。'23年4月にもここからミサイルを発射している。発射されたミサイルは南に向かい、沖縄上空を通過、フィリピンの真上を飛翔し、予定通りならばそのまま衛星軌道に乗る。もし何らかの事故により、ミサイル本体、もしくはその破片が日本領土に降り注ぐという最悪のケースを想定し、航空自衛隊はパトリオットミサイルPAC-3を沖縄本島、宮古島、石垣島と首都防衛のため東京・市ヶ谷など計7カ所に配置。そして海上自衛隊は弾道ミサイル対処能力のあるイージス艦『こんごう』型のうち、「こんごう」「みょうこう」「ちょうかい」の3隻を出港させた。今回はこの弾道ミサイル対処に当たったイージス艦『こんごう』型に注目したい。

取材／菊池雅之

北朝鮮弾道ミサイル対処で注目 イージス艦『こんごう』型